TOYO TANSO
Inspiration for Innovation
会社案内
Company Profile

［ 経営理念 ］

Corporate Philosophy

カーボンのパイオニアとして飽くなき挑戦を続ける

自然界に広く分布し、紀元前の昔から利用されてきたカーボン（炭素）。私たち東洋炭素グループは、このカーボンが秘める無限の可能性に早くから着目し、創業以来の基本理念「どこにもないモノをつくる」に則り、高機能分野に特化した独創的かつ革新的なカーボンの追求に挑戦してまいりました。いまや身近な生活空間から環境、エネルギー、宇宙航空、医療などの最先端分野まで、様々な領域で東洋炭素の製品と技術が活躍しています。しかしながらカーボンの可能性はまだまだ未知数で、異種材料との複合化などにより、果たす役割と展開領域は今後ますます拡がっていくことでしょう。
私たちは、カーボンのパイオニアとして、そして真摯な挑戦者として新しいカーボンの開発を軸に、今後とも「カーボンを極めること」、「どこにもない材料を商品化すること」に揺るぎない情熱を傾け、世界中のどこにおいても最高レベルの品質・価格・納期・技術サービスを提供し、皆様から愛され、社会に広く貢献できる企業を目指してまいります。
飽くなき挑戦と前進を続ける東洋炭素グループのこれからにどうぞご期待ください。

Inspiration for Innovation

Innovationへの飽くなき挑戦。
コーポレートスローガンには、創業のときから脈々と受け継がれてきた東洋炭素グループのスピリットがこめられています。

BRAND CONCEPT

BRAND VISION
［ 企業の目指すべき姿 ］

科学技術の発展に貢献することで、
人々の暮らしや社会をより豊かにします

BRAND VALUE
［ ステークホルダーに提供する価値 ］

あらゆる産業や製品の基盤を成し、
不可能を可能にする最高の品質と最高の技術を、
誰よりも先に提供します

BRAND PROMISE
［ 企業が将来にわたって約束すること ］

「どこにもないモノをつくる」という
パイオニア精神を忘れず、常に社会の信頼と期待に
応え続けることを約束します

BRAND PERSONALITY
［ 企業の振る舞いや世界観 ］

Integrity
Challenging
Never Give Up
Unique
Passionate
Humanity

代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO
近藤 尚孝

経営理念・方針

東洋炭素グループは、C（カーボン）の可能性を追求し世界に貢献する。

1. お客様の満足度向上を最優先のテーマとし、最高水準の品質、納期、コスト、サービスを目指し、企業活動に取り組みます。
2. Cの技術を通して、株主・社会から高く信頼され継続的に成長する未来型企業グループを目指します。
3. 社員の自立性・創造性を尊重し、全員が目標を持ち、働き甲斐があり、公正な評価をされる職場環境を築きます。
4. 法令及び社会規範遵守を基本に、社会的秩序を守り、誠実で公正な企業活動を通じて社会に貢献します。
5. 人と炭素と自然との共存・調和を目指し、地球環境保全に貢献する企業活動を行います。

Core competence

競争力を生み出すDNA

多様で確かな提案力

東洋炭素では、製品の設計・分析・検証等の各種技術サービスを展開しています。これまでの多くの知見により蓄積された豊富なデータと柔軟な発想に基づき、お客様のニーズを的確かつ迅速に汲み取った新たな提案と課題の解決に努めています。

世界に先駆けて、等方性黒鉛を量産化

東洋炭素は、高機能カーボンの専業メーカーとして理想の品質を追求し、研究開発を重ね、1974年に世界に先駆けて「等方性黒鉛」の量産化に成功しました。以来、様々な分野で私たちの生活や産業基盤を支え続けています。

進化し続ける技術力

時代と共に、カーボンへの新たなニーズが生まれる中、常に時代の先を見据え、私たちの技術力も進化を続けて来ました。私たちは、この技術力を新素材の創出や新規用途の開拓に活かすとともに、次世代を担う技術者の育成に注力し、新たな時代を切り拓いて行きます。

高機能カーボンのリーディングカンパニー

最新鋭の設備による世界最大規模の生産能力と、広範な分野をカバーする事業領域、さらには、当社の持つオンリーワン技術を背景に、私たちは高機能カーボンのリーディングカンパニーとして、確固たるポジションを確立しています。

東洋炭素が選ばれる理由

私たちは、「お客様第一主義」「品質第一主義」を経営の根幹に据え、最先端の設備による生産体制、全世界に展開するグローバルネットワーク、次世代を見据えた確かな技術、豊富な知見に基づく新たな提案によって、お客様の信頼に応え続けます。

世界トップクラスの製品力

エレクトロニクスや一般産業、さらには、原子力や宇宙航空等の最先端分野に至るまで、カーボンの用途が拡大し続ける中、私たちは、超大型素材の製造、ミクロ単位の精密加工、用途に応じた高機能・高付加価値化などノウハウを活かし、世界トップクラスの製品を提供します。

グローバルな供給力

東洋炭素グループでは、北米、欧州、アジアの世界各地に設置した現地法人が、現地顧客のニーズを直接収集して加工・販売を行う直販体制を敷いています。世界のあらゆる国・地域のお客様へ製品を供給すべく、今後もこのネットワークを拡大し続けます。

Business field

暮らしから産業までを支える幅広い事業領域

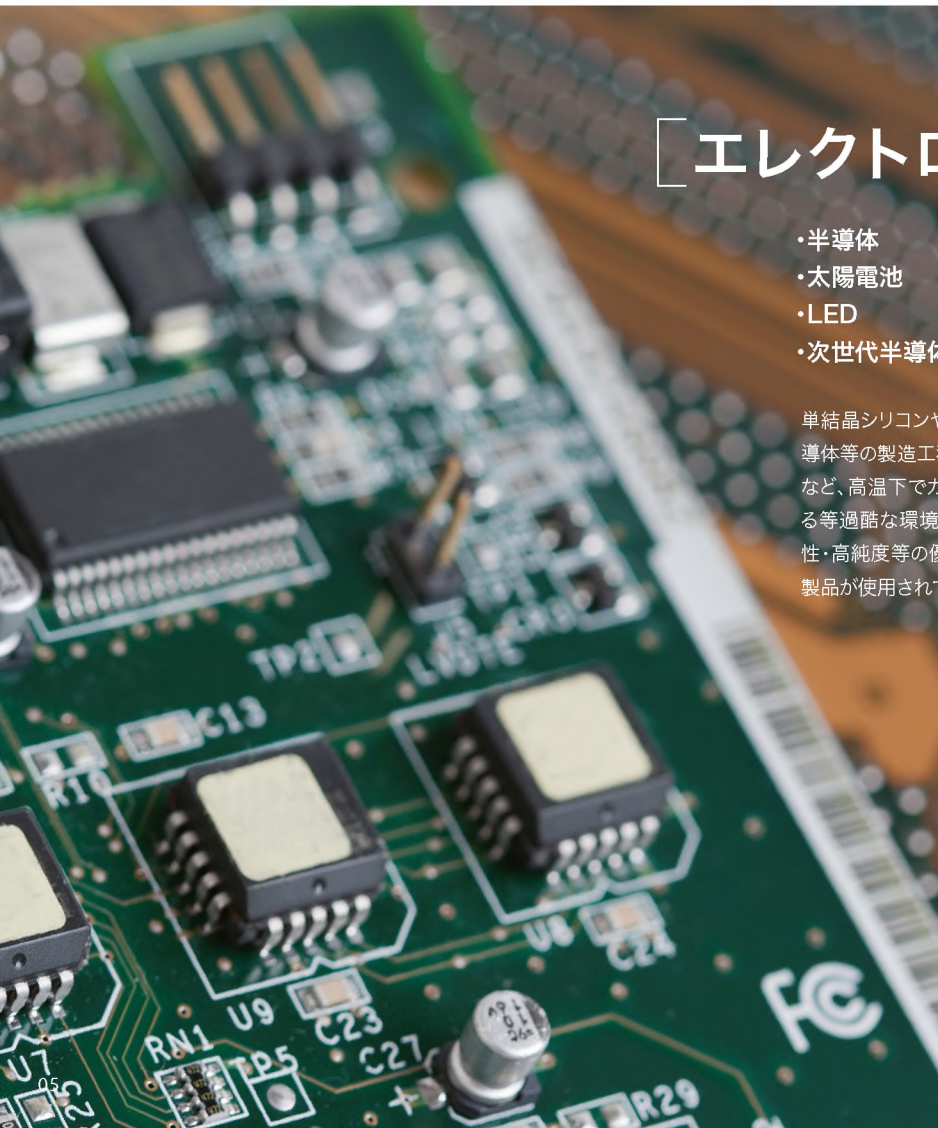
電気

・家電
（掃除機・洗濯機・エアコン・調理機器・電動工具）

半導体・自動車・産業機械・家電・医療機器・宇宙航空…
これらすべて、東洋炭素のカーボン製品が活躍しています

東洋炭素のカーボン製品は、創業来着実に活躍の場を拡げてきました。
多岐にわたる業界の様々なニーズを結実するべく、気が遠くなるほどのトライアンドエラーを
重ねてきた結果、現在では暮らしから産業にまたがる幅広い領域をカバーするに至ったのです。
次世代半導体や自動車、情報端末等技術の進歩と、産業の発展は今後も留まることはなく
そこにはカーボンのさらなる活躍の場が無限に拡がっています。
東洋炭素は新たなフィールドを求めて、さらなる可能性を探求していきます。

事業



エレクトロニクス領域

・半導体
・太陽電池
・LED
・次世代半導体
・エレクトロニクス機器
・通信機器
・光ファイバー

単結晶シリコンや化合物半導体、次世代半導体等の製造工程や、太陽電池の製造工程など、高温下でガスや化学薬品が用いられる等過酷な環境において、耐熱性・耐薬品性・高純度等の優れた特性を持つカーボン製品が使用されています。

先端

・原子力
・宇宙航空
・医療

領域

熱および電気伝導性、自己潤滑性等に優れたカーボンは、家電製品の機能を担う重要な部材として使用されており、私たちの暮らしを支えています。

一般産業機械領域

- 金型製造
- 工業炉(熱処理)
- 産業用機械部品
- ホットプレス
- 金属鋳造

産業用ポンプやコンプレッサーの軸受・シールリング・パッキン。連続鋳造用の鋳型や放電加工用の電極。金属を熱処理する際の炉内部品。これらは一般産業の中で使われているカーボンの一例です。過酷な環境に耐えうるカーボンは、産業を支える重要な部材として、幅広い用途で活躍しています。

領域

輸送領域

- 自動車
- 鉄道
- 船舶

安定した品質と信頼性が求められる輸送機器の部品や製造工程の部材として、カーボンが多数使用されています。

領域

長きにわたり蓄積した知見と技術力により培われた信頼性の高い品質は、先端分野においても認められ、高温ガス炉や核融合炉等の原子力分野をはじめ、ロケット用部品等の宇宙航空分野やCT装置のX線ターゲット材等医療分野においても活躍の場を拡げています。

小惑星探査機「はやぶさ」
写真提供：JAXA
イラスト：和下章裕

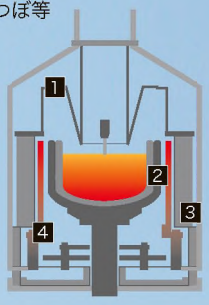
In industry, in life

あらゆるシーンで活躍する東洋炭素の製品群

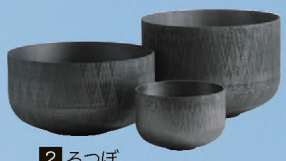
産業の中で

[半導体]

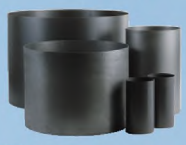
エレクトロニクス産業の発展を支えるシリコンウエハー。超高温となるその製造工程において、高純度で耐熱性に優れたヒーター、るつぼ等の黒鉛部材が数多く使用されています。



1 リフレクター



2 るつぼ

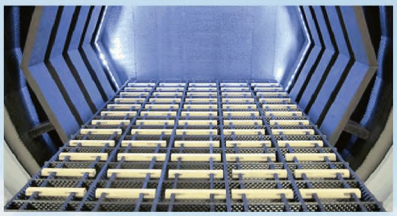


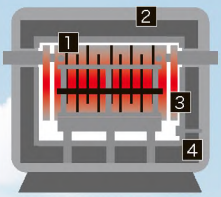
3 インナーシールド

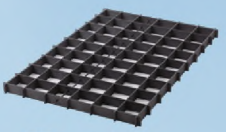
4 ヒーター

[工業炉]

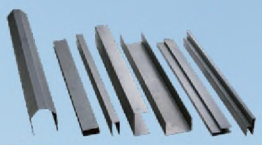
金属やセラミックスの部品の機能を最適化する熱処理炉において、軽量で耐熱性、耐薬品性に優れたカーボン製品がトレイ、ヒーター等の炉内構造物や部品として使用されています。



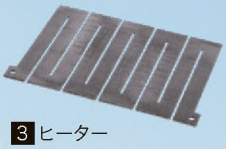




1 ベーストレイ



2 断熱材カバー



3 ヒーター

4 ボルト

[連続鋳造]

銅・アルミニウム・貴金属の溶融金属、合金を連続的に板状・棒状・パイプ状に鋳造する設備の鋳型として黒鉛が使用されています。

連続鋳造用ダイス

[放電加工]

部品の大量生産に欠かせない金型。その製造方法の一つに放電加工があります。軽量で切削性に優れた黒鉛製の電極は加工速度が速く、大型品から精密小型品まで幅広い加工に使用されています。

放電加工用電極

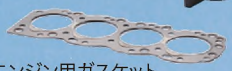
暮らしの中で

[自動車]

自動車部品やその製造工程における装置の部材として機能に応じた多種多様なカーボンが使用されています。

クラッチ

パキューム
ポンプ用ベーン、
ローター



エンジン用ガスケット

[電車]

パンタグラフとトロリ線との接触部分に独自に開発したカーボン系すり板が採用され、トロリ線の摩耗を大幅に軽減することに貢献しています。

写真提供：東日本旅客鉄道（株）

パンタグラフ用すり板

[医療機器]

CT装置の重要な機能を担うX線管の中で、ターゲット材として高純度黒鉛製品が組み込まれています。

CT装置用ターゲット材

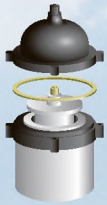
[再生可能エネルギー製品]

発電機のスリップリングに電流を伝達する接触部品としてカーボンブラシが採用され、安定したエネルギー供給に貢献しています。

風力発電機用カーボンブラシ

[省エネ機器]

需要が高まる省エネ機器。高い安全性が求められる給湯器システムの循環ポンプ部品等において自己潤滑性に優れたカーボン製品が使用されています。



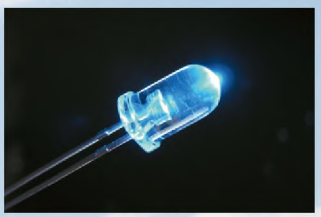
ポンプ

シールリング

軸受

[LED]

LEDの発光素子である化合物半導体の成膜工程で、高純度で熱安定性、熱伝導性に優れたSiCコーティング黒鉛製品がウエハーの台座として使用されています。

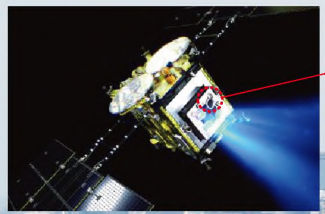


ウエハー

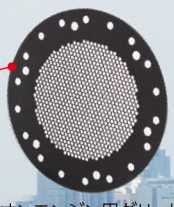
MOCVDサセプター

[宇宙機器]

小惑星探査機「はやぶさ」、さらにその後継機の「はやぶさ2」の心臓部となるイオンエンジン用グリッドとしてC/Cコンポジット材が採用されています。



小惑星探査機「はやぶさ2」
写真提供：JAXA　イラスト：池下章裕



イオンエンジン用グリッド

[太陽光発電]

太陽電池の主力材料であるシリコンの製造工程やウエハーの成膜工程などの主要工程において、耐熱性と耐久性に優れたカーボン製品が用いられています。

搬送トレイ

角型るつぼ

Product Lineup

幅広い製品ラインナップでニーズに応えます

特殊黒鉛製品

等方性黒鉛製品

耐熱性、耐薬品性、熱伝導性等の黒鉛の優れた特性に加え、等方性黒鉛は、等方的な構造により方向による制約を受けず、また、微粒子構造で高強度、材料のばらつきも非常に小さいという特長があります。この性質を活かし半導体分野、太陽光発電や原子力発電といったエネルギー分野、冶金用などの様々な産業分野で使用されています。

[半導体用/太陽電池用]

1 ヒーター
2 るつぼ

[原子力用]

3 炉心材

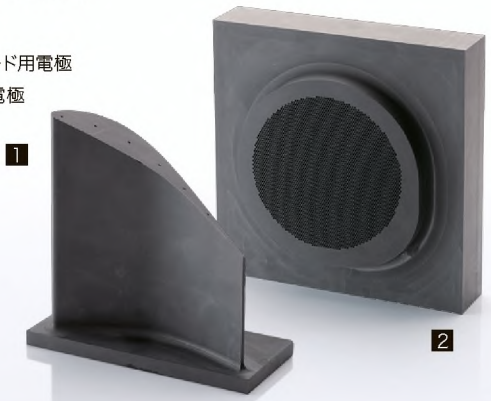
写真提供：国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

[冶金用]

1 連続鋳造用ダイス
2 工業炉用ヒーター
3 金属溶解用るつぼ

[放電加工(EDM)用]

1 タービンブレード用電極
2 スピーカー用電極



一般カーボン製品

機械用カーボン製品

炭素材料のもつ自己潤滑性、耐熱性、耐化学薬品性を活かし、一般の金属しゅう動材では使用できない高温雰囲気、液中および潤滑剤を嫌う分野に多く使用されています。

1 シールリング
2 ベアリング
3 パッキン

[自動車用]

ローター・ベーン

[電車用]

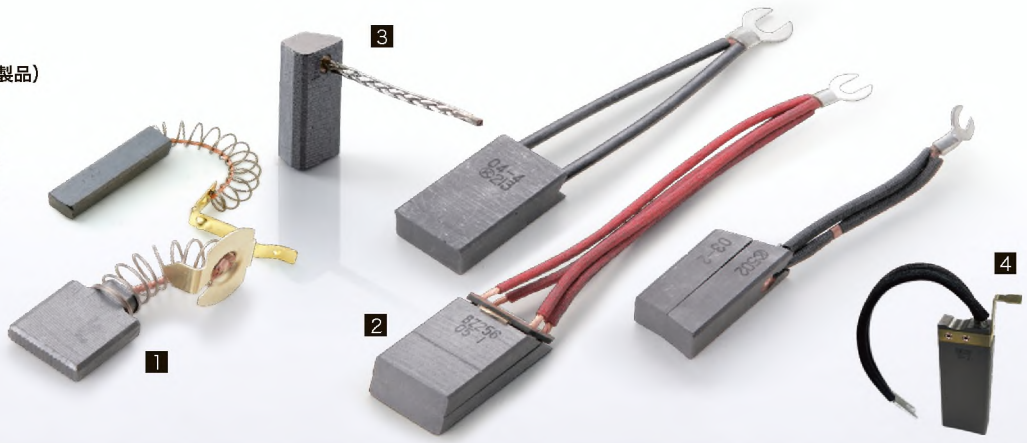
パンタグラフ用すり板

一般カーボン製品

電気用カーボン製品(カーボンブラシ製品)

回転体にしゅう動接触しながら安定的かつ継続的に電気を供給する部品であり、掃除機や電動工具の小型モーター用、風力発電の集電設備等の大型モーター用があります。

1 小型ブラシ
2 大型ブラシ
3 自動車燃料ポンプ用ブラシ
4 風力発電機用ブラシ

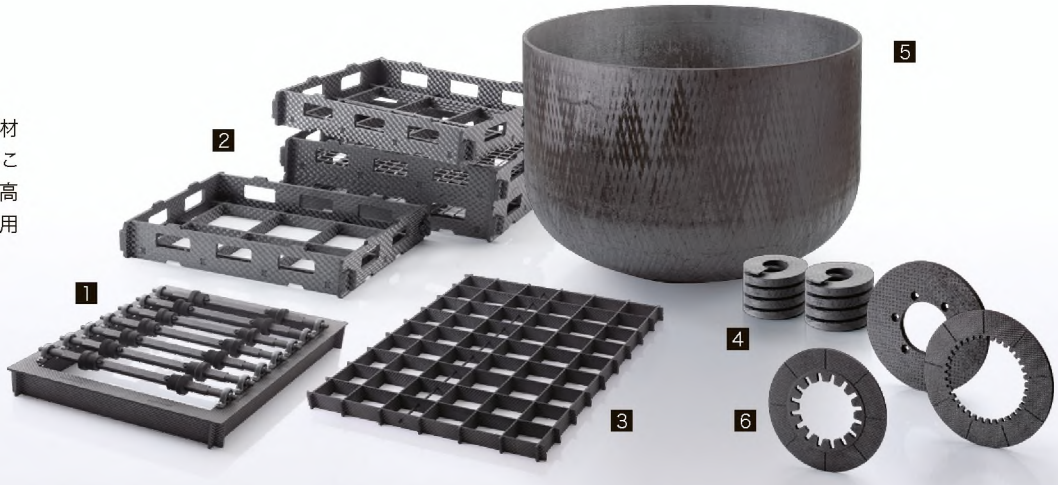


複合材その他製品

C/Cコンポジット製品

炭素を高強度炭素繊維で強化した複合材料であり、強度、耐衝撃性などが向上することにより、宇宙航空や半導体分野などの高度技術分野をはじめ各種工業分野にも使用されています。

1 ハースローラー
2 バスケット
3 ベーストレイ
4 スプリング
5 るつぼ
6 クラッチ



複合材その他製品

黒鉛シート製品 PERMA-FOIL™

柔軟性、圧縮復元性を備えたシート状の軽量な黒鉛製品で、相手材との密着性がよく熱伝導性に優れており、ガスケットやパッキンなどのシール材や均熱材等に適しています。

1 ガスケット
2 ロール品

複合材その他製品

表面処理材料

黒鉛材料への表面処理や異種材料との複合化によって、耐摩耗性・耐食性の向上や発塵防止機能の付与など基材の付加価値を高めます。

1 TaC(炭化タンタル)被覆黒鉛材 EVEREDKOTE™
2 SiC被覆材 PERMA KOTE™

「不可能」を「可能」に変える。
カーボンを極め、
新しい顧客価値の創造へ。

「どこにもないモノ」を創造する

創業来の「どこにもないモノ」への飽くなき挑戦が東洋炭素のパイオニア精神を育み、
カーボン業界のリーダーとしての地位を築き上げてきました。
今、私たちは高水準技術とチャレンジ精神を継承し、
お客さまにとっての新たな価値を創造すべく、
C（カーボン）の可能性を求め日々挑戦しています。

[研究開発体制]

お客様にとっての価値を
ともに考え、創造するために

■「創造」と「提案」を実現

東洋炭素では、「創造」と「提案」をモットーに開発マネジメント体制を構築しており、基礎研究から応用研究、量産開発まで幅広く取り組んでいます。
また、新規技術領域にも挑戦し、お客様にとっての新たな価値を提案しています。
さらに、海外のニーズにも広く応えるために、国内外のセールスエンジニアの交流を活発に行い、グローバルな人材を育成しています。

「創造」と「提案」を支える
最先端の各種分析機器

[顧客価値の創造]

次世代へ
-新規開発品の創出-

■ 未来を見据え、価値を創造する

創造力を研ぎ澄まし、ゼロから1へ、そして1から100へ。スピーディな価値創出への取り組みが次世代へ夢を繋げています。
従来の等方性黒鉛にさらなる特性を付加した各種表面処理材や複合材、テーラーメードを可能にした多孔質炭素CNovel™(クノーベル™)は、お客様の夢を繋げ、次世代の産業を支える当社独自の画期的な材料群であり、当社の技術力と開発マネジメントがそれを可能にしています。

多孔質炭素CNovel™
(クノーベル™)

[顧客価値の提案]

イニシアティブを持って
-顧客利益の追求-

■ カーボンの可能性を追求する

長い年月を経て培われた高い技術力と豊富な経験値は、お客様の中の隠れた利益を探し出します。
最先端の設備を武器に、私たちはどのような場面でもカーボンのプロフェッショナルとして、研究開発に挑んでいます。
お客様が求める以上のソリューションを提供することが我々のミッションです。

最先端の分析技術と豊富な経験をもつ技術者がお客様の期待を超える提案を実現

[海外ネットワーク]

Europe

TOYO TANSO EUROPE S.p.A.（イタリア）
TOYO TANSO FRANCE S.A.（フランス）
GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH（ドイツ）

SWEDEN / SOUTH AFRICA

Asia

SHANGHAI TOYO TANSO CO.,LTD.（中国）
SHANGHAI TOYO TANSO INDUSTRIAL CO.,LTD.（中国）
TOYO TANSO（ZHEJIANG）CO.,LTD.（中国）
SHANGHAI YONGXIN TOYO TANSO CO.,LTD.（中国）
CHENGDU TOYO TANSO INDUSTRIAL CO.,LTD.（中国）
TOYO TANSO TAIWAN CO.,LTD.（台湾）
TOYO TANSO KOREA CO.,LTD.（韓国）
TOYO TANSO（THAILAND）CO.,LTD.（タイ）
TOYO TANSO SINGAPORE PTE. LTD.（シンガポール）
PT. TOYO TANSO INDONESIA（インドネシア）

INDIA / MALAYSIA /
AUSTRALIA / INDONESIA

拡がり続けるグローバル市場への飽くなき挑戦

東洋炭素グループでは、素材の製造拠点を日本国内に集約する一方、
北米、欧州、アジアの国・地域に、加工、付加価値処理や販売を行う現地法人を設置しています。
これによる直販を主とした世界をカバーするネットワークによって、
あらゆる国・地域のお客様の最新ニーズを的確に捉え、
それに見合った迅速な対応と高品質の製品を提供することを可能にしています。

本社
国内・海外拠点
海外代理店

Japan

東洋炭素株式会社
東炭化工株式会社
大和田カーボン工業株式会社
ATNグラファイト・テクノロジー株式会社

Americas

TOYO TANSO USA, INC.（アメリカ）
TOYO TANSO MEXICO S.A. DE C.V.（メキシコ）

USA / BRAZIL / ARGENTINA

ボーダーレスな情報共有

これまでに私たちが世界各地のユーザーと、幅広い産業分野に関わり、蓄積してきた情報は、全て将来のよりよい製品づくりのためにフィードバックされます。東洋炭素では、世界各地のマネージャー・エンジニアのコミュニケーションを密にし、マーケットやユーザーの動向などの最新情報の共有化を行っています。

グローバルに連携した組織と人材育成

東洋炭素では、グローバルベースで「地域」と「用途・製品」の縦と横の軸を組織化し、それぞれのリーダーが権限と責任を持って戦略立案から実行まで推進しています。また、海外現地法人への技術者の派遣や現地スタッフの研修などを実施し、グループ全体でのセールスエンジニアや加工技術者の育成に注力しています。

高品質なものを安定して提供できるのは、「技術の東洋炭素」だからこそ

進化し続ける生産技術と品質保証体制

市場の技術進歩にともない、お客様のニーズは多様化し続けています。
東洋炭素は、そのニーズに応えるため、優れた技術と設備を集積し、
生産工程における様々な諸要因を速やかに改善・補完できるシステムを整えています。
厳しい品質管理体制のもと、お客様に最高の品質を提供するために、
私たちは常に挑戦し続けています。

[ニーズに応える製造力]

グローバルニーズに応える
最新鋭の製造設備

■ 世界最大規模の等方性黒鉛製造ライン

東洋炭素の各工場では、それぞれが優れた技術と設備を集積し、独自の生産ラインを確立しています。1985年に操業開始した主力の詫間事業所では、世界最大規模の等方性黒鉛製造ラインによりグローバルニーズに応えています。

詫間事業所

■ 素材から加工まで一貫した製造工程

等方性黒鉛は、原料・成形・焼成・黒鉛化等それぞれの工程における高度なノウハウにより生み出されます。東洋炭素は、長い歴史に培われた経験と、自動化された最先端の設備を融合することで、それを実現しています。

世界最大級の素材製造設備

[多種多様な加工技術]

微細加工、高純度化、複合化等の
高度な加工技術

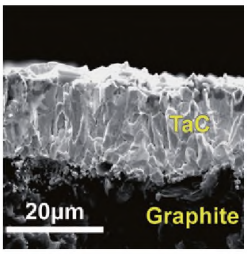
■ 超大型からミクロレベルの微細加工まで

超大型サイズの加工からミクロレベルの精度を要求される精密加工、難易度の高い複雑形状加工など幅広い加工に対応できるのはカーボンの特徴を熟知している素材メーカーだからこそ。最新鋭の設備と匠の技を駆使した加工技術により、幅広い市場ニーズに応えています。

充実の設備と技術力

■ カーボンの可能性を高める付加価値処理技術

耐食性、耐酸化性の向上がより厳しく求められる製品には、TaC（炭化タンタル）、SiC（炭化ケイ素）、熱分解炭素、ガラス状炭素などを表面に被覆し、付加価値を高めることでカーボンの用途を拡げています。



断面写真

TaC（炭化タンタル）
被覆材製品

[信頼の品質管理体制]

各工程で徹底した
品質管理システム

■ すべてのプロセスに徹底した品質管理

製造工程では、省人化・24時間稼動の最新鋭工場として、システム化された集中管理と各工程ごとの品質検査を厳重に実施。また加工工程では加工担当者による品質のつくりこみと最先端の検査設備を備え、顧客からの厳しい仕様要求にも応えられるよう徹底した品質管理システムを構築しています。

24時間集中管理システム

■ 高品質を支えるトータルマネージメント体制

当社は、ISO9001に基づく厳格な品質マネジメント体制を構築し、徹底した品質のつくりこみと、顧客満足向上のための改善活動を継続的に行っています。また、製造現場で働く従業員の安全や製品に関わる化学物質のグローバルレベルでの環境規制に十分配慮し、より高品質な製品・サービスを生み出しています。

三次元測定機による検査

[サステナビリティ]

東洋炭素のサステナビリティについて

サステナビリティ方針

東洋炭素グループは、取締役会におけるガバナンス方針に基づき従業員一人ひとりが自主性と責任感を持って自らの業務に取り組み、全てのステークホルダー（お客様、取引先、地域社会、株主・投資家、従業員）から期待される価値の提供に努めるとともに、サステナビリティ（社会の持続的な発展や地球環境の維持）の向上に貢献する企業であり続けるために、事業活動を通じた弛まぬ発展と、会社自身のサステナブル（持続的）な成長性を高めて行く事を方針とします。

斯様な方針のもとに、技術革新と当社製品による社会的価値・顧客価値の創出をはじめ、地球環境への配慮、安全と健康の確保、コンプライアンスとリスクマネジメント、公正な事業慣行、人権と多様性の尊重、社会貢献活動による社会との調和等、社会への貢献と持続的な成長の実現を強く意識した基本姿勢により、バリューチェーン全体を対象にあらゆる事業活動を推進します。

環境への取り組み

東洋炭素は「人と炭素と自然との共存・調和を目指し、地球環境保全に貢献する企業活動を行います。」21世紀の産業は、まず地球環境に配慮した事業体でなければならないと考えています。
常に再利用を考えた事業展開を進めることや廃棄物を出さない或いはどうすれば廃棄物を少なくできるか、製造技術・研究開発を進めています。
地球環境にやさしい企業を目指し、日々企業活動に取り組むことが当社の経営理念です。

■ クリーンテクノロジー

東洋炭素グループでは、マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルの両面での開発を通して、3R(※1)を目的とした廃棄物発生量の削減と再資源化を推進し、循環型社会の実現に向けた技術テーマに積極的に取り組んでおります。
これまで培ったカーボン製造の技術的ノウハウと異業種間でのコラボレーションを推進し、水素活用を核としたクリーンエネルギー社会の実現も目指しています。(※1 3R：リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle))

■ サステナブルな社会の実現に向けた環境活動

当社は、お客さまへのニーズに寄り添い、広く社会・環境課題の解決は勿論、その先進的なご要望に、迅速かつ真摯にお応えすべく、弛まぬ技術革新と、それを用いた魅力ある製品と技術サービスの提供により、持続可能な社会の発展に貢献して参ります。

■ 気候変動への対応

当社は、気候変動が将来にわたって社会に影響を及ぼす重大な課題であると認識し、CO_2等の温室効果ガス排出削減に向けた、製造工程におけるエネルギー使用の効率化・省力化等に取り組むなど、全社員が環境維持への意識高揚に努めています。
また、環境マネジメントに関する国際規格「ISO14001」の基本的な考え方をベースに、各国の各種環境法令・規制を遵守するとともに、産廃物削減による省資源活動や、環境汚染物質の管理を徹底しています。

■ TCFD情報開示

当社は、現在、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同署名を2021年7月に行っており、TCFDが提言する開示フレームワーク（気候関連のリスク及び機会に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）に沿った情報開示を進めております。

社会への取り組み

当社は、従来以上に重視される企業の社会的側面として、人的資本の分野では「人権の尊重」をはじめ、「健康と安全」ひいては「ウェルビーイングの充実」、「社員エンゲージメントの向上」、「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」、「サプライチェーンにおける取引先との適切な関係性の構築」、「社員や地域社会との調和」等、広く社会に対して、正しく適切な配慮を行う企業としての持続的な成長を目指しています。

■ 人的資本マネジメント

グローバル化の進展、少子高齢化による労働人口の減少、急速に進むデジタルトランスフォーメーション（DX）、ならびに働き方や価値観、ビジネスモデルの多様化など、経営環境が大きく変化する中にあります。
このような状況において、サステナブルな社会の実現に貢献する企業としての責務を果たすため、「人的資本」を最も重要な経営資源の一つと位置づけ、その価値最大化に向けた人的資本マネジメントを推進しています。

■ 人権の尊重

東洋炭素グループは、人権に対する姿勢や取り組みをより明確化するため「東洋炭素グループ人権方針」を制定しました。
企業活動が人権にインパクトを与える可能性があることを理解し、東洋炭素グループの企業活動に関わる全てのステークホルダーの人権を尊重する責任を果たしていきます。

■ サステナブル調達

東洋炭素グループは、「調達方針」のもと、調達活動を実施しています。この方針には、公平で公正な取引を行うことに加え、持続可能な調達活動を行うことが含まれています。また、調達活動において、グローバルなサプライチェーン全体における環境・社会的責任を果たすため、仕入れ先様と共に取り組みを行います。

■ 社会貢献活動

地域社会への貢献

関係会社を含む香川県下4工場では、積極的に地域と一体となった社会貢献活動に取り組んでいます。
・地域の消防団への加入による地域防災活動や自然災害時の支援・救助活動
・職場周辺や地域内の清掃活動
・祭礼、地域イベント、スポーツ大会への協賛及び参加

人材育成・学術振興への貢献

当社の創業者、故近藤照久の趣意により創設され、現在は主に当社株式を基本財産とする公益財団法人近藤記念財団の運営を支援しています。財団では奨学助成事業による人材育成並びに研究助成事業による学術振興を通じ、社会の発展に向けた貢献を図っております。

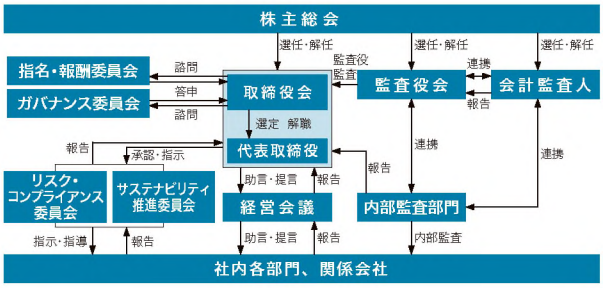
ガバナンスへの取り組み

わたしたち東洋炭素は、グローバルな企業集団として永続的に発展するため、従業員のコンプライアンス意識を高める様々な取組を行い、法令や社会規範の遵守などコンプライアンスを最優先とした健全な企業活動を推進しています。

■ コーポレート・ガバナンス

当社および当企業グループは、株主、顧客、従業員、社会等のステークホルダーからの負託に応え、その持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するため、経営理念・経営方針を基本理念とし、経営の監督と業務執行のバランスを取りつつ、透明・公平かつ迅速・果断な意思決定を行うことを目的として、コーポレート・ガバナンスの仕組みを構築しております。

［ コーポレート・ガバナンス体制の概要図 ］



■ コンプライアンス活動

東洋炭素グループでは、コンプライアンス活動を単なる法令遵守だけでなく、社会規範や倫理規範を包摂した、社会の要請に応える活動と捉えています。コンプライアンス活動を通じて、社員一人ひとりの行動の変革を促し、コンプライアンスの意識を企業文化や企業風土へと昇華させることを活動の根本としています。

■ リスク管理・BCPへの取り組み

大規模災害やパンデミック被害など、当社グループに重大な影響を及ぼす不測の事態が発生した場合、人命尊重を第一に、社員とその家族ひいては地域社会の安全安心を確保するとともに、事業活動の継続による顧客価値を守ることで、企業としての社会的責任を果たします。
また、当社グループの重要リスクに対する情報の収集、リスクの評価・予防対策を行うと共に、従業員へのリスク意識の浸透を図ります。

雇用・職場環境への取り組み

働きがいのある職場環境づくりに努めるとともに、全従業員の心身のゆとりと豊かさの実現を目指しています。基本的な人権を尊重し、差別のない公平かつ公正な雇用を保証するために、社内規程を完備するだけではなく、専用窓口も設置するなど、万全の体制で全従業員をサポートしています。また、専門員会の整備・設置を通じた労働安全衛生の徹底、労災防止はもとより、多様な人材が活躍できる職場環境の整備として、フレックスタイムやテレワークの推進、そして育児・介護との両立制度の充実やサポート体制の確立など、従業員がそれぞれの能力を発揮し貢献できるよう、安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。

次世代認定マーク「くるみん」

その他、各取り組みおよび詳細については、https://www.toyotanso.co.jp/sustainability/を参照願います。

[事業拠点]

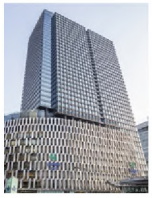
Japan

[日本拠点紹介]

日本国内には、主に香川県内に素材製造・加工拠点を設置、各地に配置した営業所により販売を行っています。

1 東洋炭素株式会社

本社
〒530-0001　大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス16F
代表　Tel.050-3097-4950 Fax.050-1796-0784
海外営業部 Tel.050-3097-4954 Fax.050-1796-0785
www.toyotanso.co.jp (日本語) www.toyotanso.com(英語)



2 近藤照久記念東洋炭素総合開発センター

〒555-0011　大阪市西淀川区竹島5-7-12
Tel.06-6472-5914 Fax.06-6471-0617

3 東洋炭素生産技術センター

〒769-1612　香川県観音寺市大野原町中姫2181-2
Tel.050-3100-3440 Fax.050-1799-3090

4 詫間事業所

〒769-1102　香川県三豊市詫間町松崎2791
Tel.050-3100-3420 Fax.050-1799-3077

5 萩原工場

〒769-1614　香川県観音寺市大野原町萩原850
Tel.050-3100-3450 Fax.050-1710-2091

6 いわき工場

〒970-1144　いわき市好間工業団地1-31
Tel.0246-36-8805 Fax.0246-36-8806

7 東炭化工株式会社

〒769-0401　香川県三豊市財田町財田上1335-22
Tel.0875-67-2655 Fax.0875-67-3044
http://www.totankako.com/

8 大和田カーボン工業株式会社

〒561-0821 大阪府豊中市日出町2-1-16
Tel.06-6333-2301 Fax.06-6333-8430
http://www.ohwada-c.jp/

9 ATNグラファイト・テクノロジー株式会社

〒640-8404　和歌山市湊1342番地
Tel.074-428-7111 Fax.074-428-7112

10 東北営業所

〒981-3133　仙台市泉区泉中央1-13-4 泉エクセルビル5F
Tel.050-3107-6108 Fax.050-1796-7244

11 東京営業所

〒103-0028　東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル14F
Tel.050-3107-6106 Fax.050-1799-0197

12 北陸営業所

〒930-0007　富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル7F
Tel.050-3107-6110 Fax.050-1796-7246

13 名古屋営業所

〒460-0003　名古屋市中区錦1-4-6 大樹生命名古屋ビル5F
Tel.050-3107-6109 Fax.050-1796-7245

14 大阪営業所

〒530-0001　大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス16F
Tel.050-3107-6111 Fax.050-1799-0196

15 広島営業所

〒732-0827　広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング8F
Tel.050-3107-6112 Fax.050-1796-7247

16 四国営業所

〒769-1612　香川県観音寺市大野原町中姫2181-2
Tel.050-3100-3443 Fax.050-1799-3091

17 九州営業所

〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勧筑紫通ビル9F
Tel.050-3107-6113 Fax.050-1796-7248

Asia

[アジア拠点紹介]

中国の主要な現地法人で製品の加工・製造・販売を行っているほか、各国・地域に設置した拠点が、アジア全域をカバーしています。

1 SHANGHAI TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
上海東洋炭素有限公司

2 SHANGHAI TOYO TANSO INDUSTRIAL CO., LTD. (中国)
上海東洋炭素工業有限公司

No.486 Xinfei Road, Songjiang, Shanghai, China
1 Tel.86-21-3774-2888 Fax.86-21-5774-1762
2 Tel.86-21-5773-6628 Fax.86-21-5773-6550
http://www.sttanso.com/

3 TOYO TANSO (ZHEJIANG) CO., LTD. (中国)
東洋炭素(浙江)有限公司

No. 88, Pu Xian Road, Pinghu Economic-Technological Development Zone, Zhejiang Province, China.
Tel.86-573-85299866 Fax.86-573-85285680

4 SHANGHAI YONGXIN TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
上海永信東洋炭素有限公司

Xianghua Town, Chongming County, Shanghai, CHINA
Tel.86-21-5944-1531 Fax.86-21-5944-1518
http://www.yongxin-toyo.com/

5 CHENGDU TOYO TANSO INDUSTRIAL CO., LTD. (中国)
成都東洋炭素工業有限公司

Building D3, Zone D, Helian New Industrial Park, Bosch Road, Shou'an Town, Pujiang County, Chengdu, China
Tel.86-28-63966628

6 TOYO TANSO TAIWAN CO., LTD. (台湾)
精工碳素股份有限公司

No.168, Lunping 5th Rd., Guanyin District, Taoyuan City 32846, Taiwan
Tel.886-3-498-5577 Fax.886-3-498-5588
http://www.toyotanso.com.tw/

7 TOYO TANSO KOREA CO., LTD. (韓国)

(Yeoksam-dong)#711 Hanshin Intervalley24 (East Tower), 322, Teheran-ro,Gangnam-gu, Seoul, 06211, KOREA
Tel.82-2-2183-1660 Fax.82-2-2183-1665
http://www.toyotanso-korea.co.kr/

8 TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

333/5 Moo 9, Bangpla, Bangplee, Samutprakarn 10540 Thailand
Tel.66-2-136-6240 Fax.66-2-136-6241

9 TOYO TANSO SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)

70 Shenton Way, #09-01/02, EON Shenton, Singapore 079118
Tel.65-6718-6520 Fax.65-6718-6529
http://www.toyotanso.com.sg/

10 PT. TOYO TANSO INDONESIA (インドネシア)

BM Rental Factory Unit B2, Kav.L9, Jl.Madura I, Kawasan Industri MM2100, Kel.Cikedokan, Kec. Cikarang Barat, Kab Bekasi,Prop. Jawa,Barat 17845, Indonesia
Tel.62-21-2808-0180 Fax.62-21-2808-0181

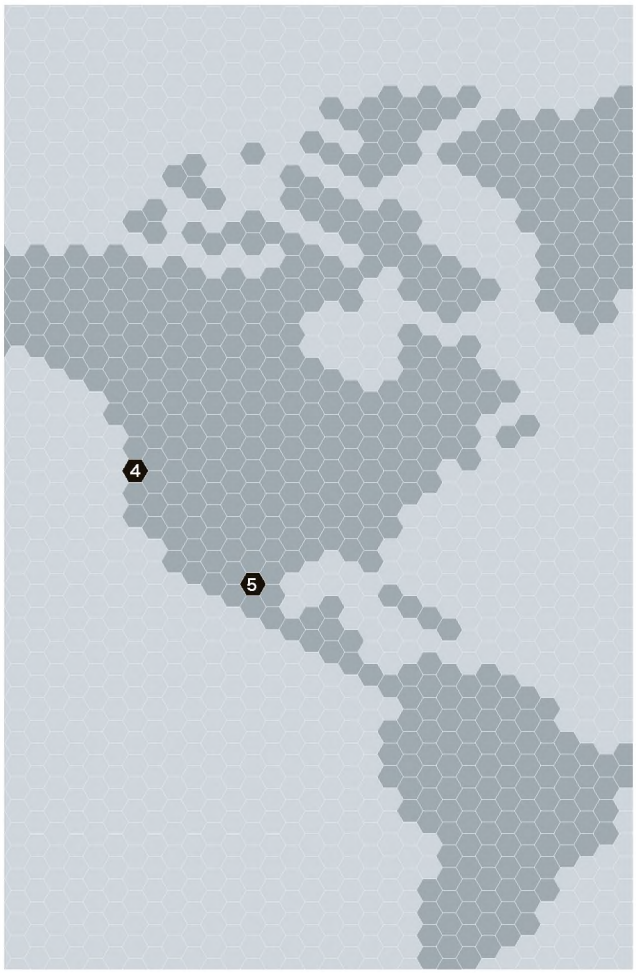
黒鉛・カーボン製品の加工　カーボンブラシ製造　販売　ブラシホルダー製造

Europe & Americas

[欧米拠点紹介]

北米、欧州の現地法人では、製品の販売のほか、黒鉛製品の高純度処理、SiCコーティングなどの加工を行っています。

Europe



Americas

1 TOYO TANSO EUROPE S.p.A. (イタリア)

20877 Roncello (MB) Via Leonardo Da Vinci, 5 ITALY
Tel.39-039-627841 Fax.39-039-695202
http://www.toyotansoeurope.com/

2 TOYO TANSO FRANCE S.A. (フランス)

Z. A. du Buisson de la Couldre 9-10, rue Eugène Hénaff 78190. TRAPPES, FRANCE
Tel.33-1-30-66-35-35 Fax.33-1-30-66-31-69
http://www.toyotansofrance.com/

3 GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH (ドイツ)

Raiffeisenstr.1, 35428
Langgöns, GERMANY
Tel.49-6403-9514-0 Fax.49-6403-9514-25
http://www.gtd-graphit.de/

4 TOYO TANSO USA, INC. (アメリカ)

2575 N.W. Graham Circle Troutdale, OR 97060, USA
Tel.1-503-661-7700 Fax.1-503-669-9107
http://www.ttu.com/

5 TOYO TANSO MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ)

Mina de Guadalupe 950-H, Parque Industrial Santa Fe IV, Silao, Guanajuato, Mexico CP 36275
Tel.52-472-748-9382/9376

- 黒鉛・カーボン製品の加工
- カーボンブラシ製造
- 販売
- ブラシホルダー製造

TOYO TANSO
Inspiration for Innovation

[会社概要]

社名	東洋炭素株式会社
創業	1941年2月11日
会社設立	1947年7月31日
資本金	79億円（2025年12月31日現在）
代表者	代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 近藤　尚孝
決算期	12月31日
主な事業内容	高機能カーボン製品の製造、販売および関連する加工事業
年間売上高	連結　461億円（2025年12月期） 単体　310億円（2025年12月期）
従業員	連結　1,678名（2025年12月期） 単体　976名（2025年12月期）
取引銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、百十四銀行
国内事業所	東北営業所、東京営業所、北陸営業所、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、四国営業所、九州営業所、近藤照久記念東洋炭素総合開発センター、東洋炭素生産技術センター、詫間事業所、萩原工場、いわき工場
国内関係会社	東炭化工株式会社、大和田カーボン工業株式会社
海外拠点	アメリカ、イタリア、フランス、ドイツ、中国、台湾、韓国、タイ、シンガポール、メキシコ、インドネシア

会社情報は、当社ウェブサイトにも掲載しております。

[会社沿革]

1941年 2月	「近藤カーボン工業所」を創設 カーボンブラシの製造を開始
1947年 7月	「近藤カーボン工業株式会社」を設立
1949年 11月	「東洋炭素株式会社」に社名変更
1957年 10月	「大阪営業所」開設
1960年 10月	「東京営業所」開設
1961年 2月	「四国工場」新設
1974年 3月	「大野原工場」新設 大型等方性黒鉛の量産化に成功
1980年 5月	「四国工場」を東洋炭素株式会社出資で「東炭化工株式会社」として事業を開始
1981年 8月	「萩原工場」新設
1985年 12月	「詫間工場」新設
1988年 8月	「GRAPHITES TECHNOLOGIE et INDUSTRIE S.A.」（現TOYO TANSO FRANCE S.A.）設立（フランス）
1989年 11月	大阪本社ビル（大阪市西淀川区竹島）完成
1991年 4月	「GRAPHITE TECHNOLOGY APPLICATIONS S.R.L.」設立（イタリア）
5月	「GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH」設立（ドイツ）
11月	株式取得により「精工碳素股份有限公司」設立（台湾） 「TOYO TANSO USA,INC.」設立（アメリカ）
1994年 3月	大野原工場を「大野原技術開発センター」に改組
8月	「上海東洋炭素有限公司」設立（中国）
1995年 2月	詫間工場を「詫間事業所」に改組
1997年 1月	全株式取得により 「TOYO TANSO EUROPE S.p.A.」設立（イタリア）
1999年 4月	「いわき工場」新設
9月	全株式取得により「大和田カーボン工業株式会社」設立
2000年 4月	「上海永信東洋炭素有限公司」設立（中国）
2001年 4月	詫間事業所に第二工場設置
2003年 9月	「上海東洋炭素工業有限公司」設立（中国）
2006年 3月	東京証券取引所市場第一部に株式を上場
9月	「TOYO TANSO KOREA CO.,LTD.」設立（韓国）
2007年 12月	本社を大阪市北区梅田に移転 旧本社を「近藤照久記念東洋炭素総合開発センター」に改組 大野原技術開発センターを 「東洋炭素生産技術センター」に改組
2008年 3月	「TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD.」設立（タイ）
2010年 2月	詫間事業所に第三工場設置
8月	「TOYO TANSO SINGAPORE PTE. LTD.」設立（シンガポール）
2013年 11月	本社を大阪市西淀川区竹島に移転
2014年 9月	「東洋炭素（浙江）有限公司」設立（中国）
2015年 5月	「PT. TOYO TANSO INDONESIA」設立（インドネシア）
12月	「TOYO TANSO MEXICO S.A. DE C.V.」設立（メキシコ）
2019年 6月	「成都東洋炭素工業有限公司」設立（中国）
2020年 6月	ATNグラファイト・テクノロジー（株）に資本参加
2022年 4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所市場第一部からプライム市場に移行
2023年 2月	ATNグラファイト・テクノロジー（株）の新工場が本格稼働
2024年 1月	本社を大阪市北区梅田に移転
2025年 7月	中国 上海市に上海東洋カーボン貿易有限公司を設立

TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

東洋炭素株式会社

www.toyotanso.co.jp

No.TT-14-17 2026.07